

2026年 学術講演・FD研修のご案内

【タイトル】生成 AI を活用した教育研究の進め方

【日時】2026年3月12日（木）16時40分から18時（途中入退出室可）

【会場】教育学部 B 棟 4 階 B401 教室 および Zoom

※B303 から変更になりました。

【対象】生成 AI が教育研究にどのように活用できるのかに関心をもつ教員

※対面参加の方は、パソコンをご持参ください。

【講師】山内 豊（教育学部教授）



【指定討論者】金子朋子（理工学部教授・教育・学習支援センター長）

【概要】 「急速な進化を遂げている生成 AI をどう適切に活用するか」は極めて重要なテーマの1つです。本講演では、生成 AI が持つさまざまな機能の中で、どの機能をどの場面でどのように活用すると効果的かについて具体的に平易に解説します。

- (1) 国内外の多くの文献から研究テーマに関係した論文を検索し、各論文の要旨を一覧表示する方法
- (2) 国際会議で英語で口頭発表し質疑応答する準備や練習に生成 AI の音声対話機能を活用する方法
- (3) 科研費の研究計画調書の質と内容を生成 AI で高める方法
- (4) ゼミ生を国際会議発表までに導く活用法

山内豊ゼミでは、学部4年生が卒業研究を審査つきの国際会議に応募し、研究成果を国際舞台で発表することをほぼ毎年行っています。

2026年度もカンボジアの首都プノンペンで開催された2千人規模の国際会議でゼミ生4名が生成 AI 活用に関する研究発表を個別に行いました。

生成 AI を使って、学部学生の研究内容を高める方法、科研費を獲得して学生を国際会議に連れて行く方法も紹介します。「学習者が AI 依存で真剣に考えなくなる」という批判に対して、「望ましい AI の活用法」についても議論する予定です。



【講師略歴】

コロンビア大学大学院（Teachers College）修了。専門は英語教育学・教育工学。東京学芸大学附属中学校・附属高校の英語教諭を経て現職。文部科学省の審議会委員、学習指導要領作成委員、全国学力調査問題作成委員、デジタル教科書導入の有識者会議委員、NHK「えいごリアン」の番組企画委員などを歴任。現在は、生成 AI を英語教育でテスト・評価に活用する科研費による研究を進めている。yutaka@soka.ac.jp

参加をご希望の方は、zoom 情報をお伝えしますのでメールにてお問い合わせください。